

心の健康を保ち、自殺のない町を

3月16日（火）、国際交流会館において、「心の健康と自殺を考える研修会」が開催され、青森県立精神保健福祉センター所長 岩佐博人氏を招いて「心の健康と自殺対策を考える」をテーマに講演会が開かれました。

講演会には、一般町民、行政推進員、民生委員など120人にのぼる町民が集まり、町民の自殺予防に対する関心の高さがうかがわれました。

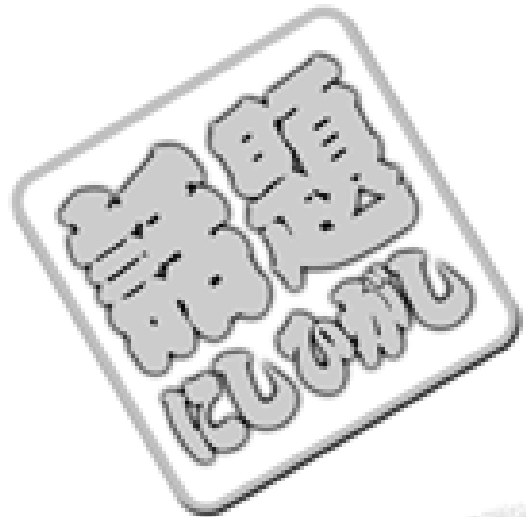
講演会の中で岩佐先生は、自殺はうつ病が要因で引き起こすということ。見落としやすいうつ病の初期症状。「うつ病」はきちんとした病気の一つで、正しい治療・投薬により治る病気だということ。また、うつ病で悩んでいる方への接し方などを分かりやすく端的に聴衆に説明されていました。



△当日120人の町民が聴講する



△うつ病の改善が自殺者を減らす要因と語る岩佐氏



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)

6年間ありがとう・小学校卒業式

3月19日（金）20日（土）の2日間にわたり、鶴田管内すべての小学校で卒業式が執り行われ、たくさんの思い出を胸に、卒業生たちが慣れ親しんだ学び舎を巣立っていきました。

3月19日（金）に行われた水元中央小学校では、卒業証書が手渡されたあと、卒業生が1人ずつステージで将来の夢を語りました。また、同日行われた胡桃館小学校では、在校児童が卒業生一人ひとりの思い出を語るなど、各学校で心に残る感動の卒業式が行われました。

最後の卒業生退場の時には、お世話になった先生方と固く握手を交わし6年間の感謝の気持ちを表していました。



①涙をこらえながら最後の校長先生の式辞を聞く児童（梅沢小）②全校児童の前で将来の夢を語る（水元中央小）③卒業記念の弥生画を学校に贈る（胡桃館小）④最後の校歌を歌う卒業生たち（鶴田小）

交通事故から子どもたちを守ろう！

4月8日（木）～14日（水）までの1週間、鶴田駐在所、鶴田町交通安全協議会、交通安全母の会、各地区の団体により春の交通安全運動が展開され、児童の通学や下校による交通事故の防止や夕暮れの早めのライト点灯などを町民の方々に呼び掛けました。

8日の早朝には、各交差点で街頭啓発活動が行われ、初めて通学する新入生児童への交通安全指導が行われました。

この時期の子どもたち、特に新入生児童は交通ルールを良く分かっていません。大人たちが見守ってあげないと、急な飛び出しやふざけて車道に出してしまうなど危険がいっぱいです。わたしたち大人が注意し合い、まちの宝である子どもたちを交通事故から守ってあげましょう。

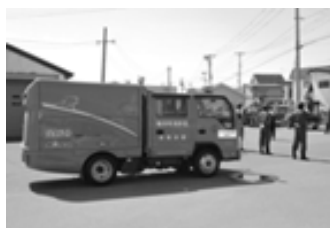


①街頭啓発に集まった団体の皆さん②元気な声であいさつをする児童
③信号箇所では指導する警察の方々④児童へに声掛けしながらの安全指導



△本町分団での査察

火災のない町をめざし春の火災予防運動



△査察中緊張感がみなぎる団員（上）と本町分団に今年配備された多機能消防車（下）

4月11日（日）、消防団本部（下山正彦団長）が管内の各15分団に対してのパレード査察を行い消防設備と消防機械器具の点検が行われました。今年多機能消防車が配備された本町分団では、初めて新車両の査察が行われ、全消防団ともに「異常なし」で査察が終了しました。

4月12日（月）～18日（日）までの1週間、春の火災予防運動が実施されており、期間中鶴田消防署と鶴田町消防団では、管内全域を消防車両で広報活動を行い、町民に火災予防の呼び掛けをしています。

元気に帰ってきました！

3月22日（月）、11日間のフッドリバー市親善訪問を終え、中学生大使17人が元気に帰ってきました。

国際交流会館で行われた解団式では、大使一人ずつから旅先での報告が行われ、ホームステイ先での出来事や交流会の様子などが楽しく語られました。

終了後、大使たちはフッドリバーでのたくさんの思い出を胸に家族の待つ家と帰って行きました。

中学生大使フッドリバー市親善訪問団の様については、6月号に掲載する予定です。



△旅先でのさまざまな出来事を報告する



△解団式を終え中野町長とガッチリ握手を交わす大使たち



△最後に今回のメンバー全員で記念写真「ハイポーズ」